

みんなで生ごみゼロを目指そう

ミニ・キエーロの 作り方・使い方








妙高市 環境生活課

ミニ・キエー口の作り方

材料	備考	数量
大型プランター	深さが20cm以上確保できるもの。	1個
透明波板	ポリカーボネート製波板 (プランターより縦横10cm程度大きいもの)	1枚
角材	プランターの横幅と同サイズのもの。	3本
ビス		適量
蝶番		2個
黒土	プランターの容量に応じた量を使う。	適量

No.	工程
1	<p>①角材と波板をビスで止めます。 ※波板の向きは、波が角材と直角となるようにします。 ②一方の角材と残りの角材を蝶番で止めます（片側が高くなるようにする）。</p>
2	<p>・蝶番を付けたほうの角材とプランターをビスで止めます。</p>
3	<p>・黒土を入れて完成。</p> 

ミニ・キエー口の使いかた

順番	内容	写真
1	<ul style="list-style-type: none">・容器のふたを開け、生ごみを埋めるところに穴を掘る（15cm～20cm程度）。・掘った土は、一か所に山にしておく。	
2	<ul style="list-style-type: none">・掘った穴に生ごみを入れ、生ごみの水分量に応じて、水を足す。※目安は泥団子ができる程度の水分量。	
3	<ul style="list-style-type: none">・掘った穴に、山にした土の一部を戻し、よくかき混ぜる。・生ごみが大きい場合は、スコップで細かくする。	
4	<ul style="list-style-type: none">・山にした土の全部を穴に戻し、平らにする（ここではかき混ぜない）。	
5	<ul style="list-style-type: none">・ふたを閉じて終了。※次回埋めるところに目印としてスコップをさしておくといはいいです。	

ミニ・キエー口使用上の注意

番号	項目	内容
1	・ 分解時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ バクテリアの働きにより生ごみを分解するため、季節（気温）により分解する速さが変わります。 ・ 夏で4日～1週間程度、冬で2週間程度です。
2	・ 分解しやすい生ごみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごはんや麺類など ・ 豚肉や魚などの肉類 ・ 食用油 ・ カレー、シチュー ・ ドレッシング ・ お茶がら、コーヒーかす ・ 加熱した野菜 <p>※人間が食べられるもの、カロリーが高いもの、加熱したもの、細かくしたものなど、人間が食べやすいものは分解しやすいものになります。</p>
3	・ 分解しにくい生ごみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 根菜類 ・ ニンジン、大根などの少し硬い野菜の皮 ・ 魚などの小さな骨
4	・ 分解しない生ごみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鳥などの大きな骨 ・ 卵の殻、貝殻 ・ 梅干しなどの大きな種 ・ 玉ねぎの皮（水分のない皮） ・ トウモロコシの芯、ブロッコリーの茎 ・ 紙やビニールなどの生ごみでないもの
5	・ 虫やにおい対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ キエー口に入れるときに、深く（20cm以上）掘り、しっかりと埋め戻すことで虫やにおいを防ぐことができます。 ・ もし虫が発生しても、殺虫剤の使用は可能です（殺虫剤を使用した場合は、堆肥としての使用は控えてください）。